

こちよこちよされても大せつな人

山陽西小学校 二年 西岡 実乃里

わたしはピアノをならっているのを見て笑うので三さいからはじめました。

今年の夏、わたしはピアノのなういごとで大ピンチになりました。それはなぜかと言うとピアノの発表会の曲を練習していると申で先生からコンクールの曲をもらいました。はじめで大きなコンクールにさそわれてうれし

くてやる気ができました。でも、先にもらった発表会の曲を練習しなくなってしまう、発表会がおわるまでコンクールの練習はお休みになってしまうしました。

発表会がおわってコンクールの練習がまたはじまりました。あと二十日で曲をひけるようにならなはいけません。まい日がなば、て練習をしましたがおかあさんに

このままじゃまにあわないういよ。と言われ、おずかしい音ぶはたくさんある

し、ながなが上手にひけません。こま、てい
るとおねえちゃんがありました。

あたしのおねえちゃんはお友だちにはやさ
しいけれど、わたしにはいいあるです。やめ

てと言ってもこちよこちよをやめてくれな
いし、わたしのかんばつでいるピアノの曲をと

なりです。うすうすいってさうが立ちます。
でもその時はちがいました。あかさない音

ぶをとなりでよんでくれてわがらないメロデ
ィーはひいてくれいろいろ教えてくれました。

そのおかげで、レッスンのたびに先生に

うそよくねんしう出来ているね。

とほめられ上手になれました。

いつちけんかばかりしていろおねえちゃん

たけど、とてもたよりになるなと思いました。

けんかもたくさんするけれど、大せつなおね

えちゃんです。

おねえちゃん、ピアノのねんしう手つた

てくれてありがとう。これからもなかよく

しようね。